慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	理財学会記事
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1925
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.19, No.6 (1925. 6) ,p.943(139)-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19250601-0139

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

金融資金と其需給關係幷に信用の職能を說いて金融の依つて行はれる所以を述べ、次いで金融市場に就て略說した後、金融の統制に就て、第六、第七、第八の三章を割いて、詳細に記述してある。思ふに本書の中心を爲し、又讀者に大なる感興を與へるのは、此部分であつて、金融の時に逼迫し、時に緩和する所以、此趨勢に對して行はれる統制、從來金に依つて統制されるを常とした金融が他に統制の標準を求めんとするに至れる事情が最も正確に示され、稀れなる例を除き、全編を通じて、何等特種の專門的術語が用ひられず、何人にも理解される日常當用の語を以つて金融の理論と應用とが說明されて居ることは、本當の特色として、推稱すべき所である。

太田博士の著はす「國民豫算論」は大正十二年二月初版發行以來版を重ねること十數次、今回改訂增補されたものが即ち上記の大正十四年版であつて、大正十四年度の豫算に例を取つて、說明を試みた所に「大正十四年版」の意義が現はれる。從來豫算殊に我國の豫算の不可解であることは、一般の公評であつて、豫算案議定の任に當る貴衆兩院の議員中に於ても、豫算を理解する者は一部少數の所謂財政通に限られて居り、其財政通なる者も豫算面に於ける數字の排列を心得て居るだけであつて、此數の由つて來る經濟財政上の根本的知識に缺ける所なきを得なかつた。斯くて豫算は面倒なる數字として、國民に顧みられざるの嘆なきを得なかつたのであるが、斯の如きは畢竟豫算の數字に生氣を與へるだけの說明がなく、活氣を加へるだけの評論の行はれなかつた結果である。太田博士の「國民豫算論」は上記の點に於て、我國學界の缺陷を充すものであつて、豫算の編成から、其施行を經て、決算に至るまでの一切の科程が一々我國の實際に徵して、平易に說明され、一讀能く豫算の何ものたるやを理解せしめる。第四日本豫算史は明治初年以來最近に至るまで、我國の財政が如何に發達したかを知るに便利であり、附錄として豫算に關する重要法令が網羅されて居る。英國大藏省官吏ヒルトン、ヤング氏曩に「英國々民財政制度」を著して、英國財政の通俗的說明を試みたが、太田博士の國民豫算論は實にヤング氏の著書に比す可きものである。

（堀江歸一）

理財學會記事

△四月二十七日

野村兼太郎教授の歸朝歡迎會を萬來舍洋閣に於て開催せり。席上幹事の歡迎の辭、野村教授の劔橋大學生活談、並に氣賀教授の滯歐述懷談等あり、一同歡談に時をうつし、午後九時閉會す。當日出席者左の如し。

野村、氣賀、金原、津田、高木、平井諸教授
和田、濱谷、櫛原（三年）野村、奥田、血脇、
小林、寺本（二年）細居、森、久野、有野、塚
本、上月、新川、內田（一年）各幹事。

△五月十三日

理財學會春季大會を午後一時より大講堂に於て左の如きプログラムの下に開催せり。聽講者約四百名にして盛會なりき。

一、經濟上より觀たる中世の意義　野村兼太郎氏
二、農工商に於ける富の生產に就いて　那須皓氏
三、富の原因の研究としての人口論と貧の原因の研究としての人口論　高橋誠一郎氏
四、財政學の民衆化　太田正孝氏

尙大會終了後萬來舍にて講師諸氏を招じて晩餐會を開催す、出席者次の如し。

那須、太田、高橋、三邊、金原、伊藤、平井諸氏。並に濱谷（三年）小林、血脇、野村、武井、奥田（二年）久野、塚本、有野、細居、森（一年）諸幹事。